

諏訪神社

御祭神

上社 建御名方富命(大國主神の御子神)
タケミナカタトミノミコト

下社 八坂刀売命(建御名方神の妃神)
ヤサカトメノミコト

御神徳

スワとは恐らくは州端(スワ)で水辺の端に鎮座したところから名付けられ、諏訪の神様は古くは農耕上の水の神、ひいては生活の根源神としての有難い御神徳があります。

末社、現在は上社境内に皇大神宮、下社境内には祖霊社がありますが、以前は、上社末社として舟玉、金毘羅、天神、稻荷社をお祀りし、下社は、山王、第六天、白山社がお祀りされていました。

平成二十六年 例大祭諸儀日程

八月二十三日(土)

午後一時 幟立て仮宮舗設

仮宮出御祭

上社奉告祭

宵宮

二十六日(火)

二十七日(水)

自午前 四時 浜降り式

至同 六時半

同 七時五十分 例大祭

自同 八時半 出御祭

(各町内神輿巡幸)

午後六時 山車、囃子屋台等行列

龍口寺前より参進

至同 八時十五分 神輿神社帰着

二十八日(木)

午前九時 各町幟降納

午前十時 本社還御祭

●神賑行事予定 (於 境内)

二十五日(月) 大人神輿(町内)

二十六日(火)・二十七日(水) 両日境内参道両側露店商出店

●御神幸行列々次

町内囃子：高張提灯：宮太鼓：大麻(神職)

職)：注連櫛：御神旗：祭員(神職)：賽物

(白丁)：祭員(神職)：神輿：齋主(騎馬)

役員総代

二十七日(水)

浜降り式予定表

午前 四時 神社前集合

同 四時十分 出 発

同 五時 東浜到着

同 五時三十分 同 出 発

同 六時十五分 神社前到着

(往路)

神社前：西浜橋：小田急弁天橋：東浜

(復路)

東浜：江ノ電江ノ島駅：上諏訪：片瀬

小：神社前

二十七日(水)

神幸祭(神輿渡御)予定時刻

新屋敷 自午前 八時三十分

至同 十一時〇〇分

西方 自午前 十一時〇〇分

至午後 十二時三十分

西方 自午後 十二時三十分

至同 十四時二五分

西浜 自午後 十二時三五分

至同 十四時二五分

東り町 自午後 十四時二五分

至同 十五時四五分

下之谷 自午後 十五時四五分

至同 十七時〇〇分

神輿奉昇、山車 自午後 十八時〇〇分

囃子屋台行列 至同 二十時一五分

(龍口寺前、新屋敷、神社)

●国道片側通行のお知らせ

二十七日(水)午後十八時より二十一時迄、神輿、山車等の行列参進の為、龍口寺前より片瀬山交差点に至る間、国道が片側通行となりますので、ご協力をお願いいたします。

日本人と拍手

かしわで

私たちが日常至るところでする拍手。お芝居やスポーツを観にいつて感動したり、あまりの嬉しい出来事に思わず手をたたいてしまう…。これは世界中どこでも見られる光景でしょう。

一方で、同じ拍手でも、神社にお参りしたときや、食前食後に“ぼん”と手をたたくのは日本人だけの習慣かもしれません。

日本人の拍手の習慣は古く、中国の歴史書にも、我々の祖先が貴人に対して敬意を表す仕草として記されています。それは神さまに対しても同じで、古代の人々は神さまが宿る宿る自然の力を畏れ、敬い、拍手を打ってきたのです。

神社に行けば二拝二拍手一拝という参拝の作法でお参りしますが、神前に立つと自然と手をたたいてしまいたくなるのは、太古からの日本人のDNAが息づいているからかもしれません。

●東り町

責任役員	一名
総代	三名
責任世話人	一名
世話人	五名
世話人	一名
代表	一名

●下之谷町

責任役員	一名
総代	三名
責任世話人	一名
世話人	八名
世話人	一名
代表	一名

例大祭奉仕役員

宮司	一名
例大祭実行委員長	一名

●新屋敷町

責任役員	一名
総代	四名
責任世話人	一名
世話人	五名
世話人	一名
代表	一名

●西方町

責任役員	一名
総代	四名
責任世話人	二名
世話人	三名
世話人	一名
代表	一名

●西浜区

責任役員	一名
総代	四名
責任世話人	一名
世話人	七名
世話人	一名
代表	一名

お願い

・諏訪神社前の国道は交通が激しく、二六日(火)・二七(水)【祭礼当日】は、特に混雑が予想されますので道路の横断の際は必ず横断歩道を渡りましょう。

・二七(水)早朝 浜降り式にて、五町内のお囃子が巡行いたしますが、巡行路にあたる近隣の皆様方のご協力をお願いいたします。

諏訪神社社務所

TEL(二二二)五八四三二